

# 総合整備計画書

坊山辺地

(辺地人口 67人、面積 2.6km<sup>2</sup>)

## 1. 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称  
坊山、湯ノ岱
- (2) 地域の中心の位置  
小森字湯ノ岱71-1
- (3) 辺地度数  
128点

## 2. 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、国道285号線沿いの2集落30戸で構成される辺地である。  
当辺地内の橋梁は当地域と市街地を連絡するために欠くことの出来ないものであり、交通の安全を図るため、損傷状況を確認しながら計画的に補修を行い、長寿命化を図るものである。  
当辺地は路線バス運行はあるものの便数が少なく、移動には自家用車が多く利用されているが、山間地で降雪量が多い豪雪地帯であるため、除雪機械を整備し、冬期間の地域交通を確保する必要がある。現在所有している除雪機械は平成10年に購入したものであり、耐用年数が経過し老朽化による修理費も年々増加している。また、シーズン中に故障が発生した場合は作業に著しく支障をきたすことが想定される。このため、地域住民の安全かつ円滑な冬期交通を確保するため、除雪機械の更新を図るものである。

## 3. 公共的施設の整備計画(令和2年度から令和6年度まで5年間)

(単位:千円)

| 施設名  | 事業主体 | 事業費    | 財源内訳   |        | 一般財源のうち辺地対策事業債の予定額 | 備考            |
|------|------|--------|--------|--------|--------------------|---------------|
|      |      |        | 特定財源   | 一般財源   |                    |               |
| 橋梁   | 市    | 40,000 | 24,860 | 15,140 | 15,100             | 坊山橋補修事業(補修工事) |
| 除雪機械 | 市    | 32,000 | 0      | 32,000 | 31,000             | 除雪ドーザ11t級 1台  |